

## 令和7年度 明石市地域公共交通会議(第1回)議事概要

(日 時) 令和8年2月10日(火)15時00分～

(会 場) 明石市役所 議会棟2階 大会議室

(出席者) 委 員：12名(欠席0名、代理1名)

オブザーバー：1名

随行者：3名

傍聴者：4名

### 協議・報告事項

#### 協議事項：3件

【協議事項 第1号】山陽バス 2026年4月ダイヤ改正について … [資料1](#)

#### (概要)

山陽バス63・65系統における2026年4月の便数見直し等について協議を行った。

⇒協議内容について、異議なく承認

【協議事項 第2号】神姫バス 令和8年4月1日路線再編について … [資料2](#)

#### (概要)

神姫バス運行路線における2026年4月の便数見直し等について協議を行った。

#### (意見・質問)

Q. [資料5](#)の11ページに掲載している、明石市内におけるバス利用者数の推移によると、令和6年度令和5年度と比較し、神姫バスの利用者数が300万人程度増加している。こういった路線で利用者が増加しているのか。また、増加路線を参考に、減少している路線を改善する手立てはないのか。

→(神姫バス)

資料の数値は、明石駅を発着する路線の乗客数を集計している。このうち、西神中央駅や伊川谷駅を経由する路線の利用者数は、神戸市が実施している高校生の通学定期券補助の効果により大幅に増加している。

利用者数を改善するための取組として、明石駅前案内所で丁寧な接客を心掛けている。また、聴覚障害のあるお客様のためにタブレット端末を試験的に導入しており、今後も継続していく方針である。

Q. 路線バス事業者に対し、市の福祉部局から助成金が出ているが、運行事業者としてはどのような水準か。また、バスを減便することは、利用者を減らすことに繋がると思う。

→(事務局)

都市局は公共交通の利用促進を担う部署であるため、市民にバスなどを利用してもらうことが、公共交通の維持につながると考えている。

明石市では、市内の路線バス事業者である神姫バスと山陽バスと連携し、バスをより身近に感じて

らうための取組を行っている。具体的には、市内の転入世帯や免許返納者、3歳6か月児健診受診者に対して公共交通マップとバスお試し無料乗車券を配布し、バス利用の一步目を後押しすることを目的としている。また、市内の小学校で公共交通について学べる出前講座を実施し、子どもたちからバスに親しんでもらうことを目指している。そうして取組を着実に進めることで、現在のバス路線を維持できるように取り組んでいる。

Q. 令和8年4月からの路線再編により、藤江駅から藤江小学校前間が休止されると思うが、休止する路線の距離は何kmか。

→(神姫バス)

0.6kmである。

Q. 休止系統については、既存の系統である程度カバーはされると思うが、利用者に対しての周知はしっかりとしてほしい。

→(神姫バス)

承知した。

Q. 減便に関して、他の委員からも意見があったように、慎重に考えていただきたい。今後、他の路線については、できれば減便せずに残してほしいと思っている。

→(神姫バス)

これからも慎重に検討しながら進めていきたい。

⇒協議内容について、異議なく承認

**【協議事項 第3号】明石市コミュニティバス(Tacoバス)の運行について … 資料3**

(概要)

事務局より、明石市コミュニティバス(Tacoバス)におけるルート変更およびバス停の新設について協議を行った。

⇒協議内容について、異議なく承認

**報告事項：2件**

**【報告事項 第1号】明石市コミュニティバス(Tacoバス)の運行について … 資料4**

(概要)

事務局より、Tacoバスの運行の経緯や運行実績、利便性向上に向けた取組について報告を行った。

【報告事項 第2号】あかし「バスに乗ろう！」プロジェクトの取組について … 資料5

(概要)

事務局より、あかし「バスに乗ろう！」プロジェクトの取組や市内のバス利用状況等について報告を行った。

(意見・質問)

Q. お試し無料乗車券について、令和4年に2枚から1枚に変更したとあるが、片道分は運賃を払って乗車したと捉えていいのか。

→(事務局)

事業の趣旨としては、まずはバスに乗っていただき、その利便性を実感してもらうことである。2枚から1枚に変更したことで、利用率は下がったのは事実だが、限られた予算の範囲で、現時点は運用を進めているところである。

Q. お試し無料乗車券の事業は、今後も継続するか。

→(事務局)

無料券の利用時に記入してもらうアンケートの結果から、実施前よりもバス利用意向が高まっていることが明らかである。限られた予算の中で一定の効果が認められているため、本事業は継続していく方針である。

Q. 今後、神姫バスや山陽バスが撤退した地域に対し、Tacoバスを導入することはあるのか。

→(事務局)

明石市では「明石市総合交通計画」において、市内の公共交通ネットワークを定めている。東西の移動はJRと山陽電車、南北の移動は路線バスが担うことになっており、Tacoバスは路線バスが運行していない地域の移動手段確保を目的として運行している。

ドライバー不足などの状況から、将来的にある地域で路線バスの運行が完全に休止した場合には、Tacoバスを含め、地域に適した公共交通手段の導入を検討する。したがって、路線バスの撤退があったからといって、必ずしもTacoバスを導入するわけではない。

以上